

8 / 5 (月) ~ 8 / 9 (金) の行事



北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 8月 1日 (木) 17時00分

発表項目 (行事名)	北海道立北の森づくり専門学院開校に係るフィンランドの 林業教育プログラムの導入に向けた検討について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道では令和2年4月の北海道立北の森づくり専門学院の開校に向けて、林業先進国であるフィンランドのリベリア林業専門学校の教職員を招き、高性能林業機械のオペレーター養成に関する教育プログラムの検討を行うことにしたので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時及び場所は別紙のとおり。 令和元年8月5日(月)～9日(金) 札幌市、空知管内、十勝管内、釧路管内(詳細は別紙の通り)</p> <p>2 来道者 フィンランド リベリア林業専門学校 林業教育部長 ミッコ・サーリマー 氏 国際職業教育・トレーニング長 カトヤ・ベリュネン 氏</p>		
参考	令和2年4月に旭川で開校する北海道立北の森づくり専門学院の開校に向けた取組の一環として、林業先進国であるフィンランドの技術指導を受け、質の高い教育課程の構築に取り組んでいることを広く報道いただきたい。		

報道(取材)に当たってのお願い	積極的な取材、報道をよろしくお願ひします なお、具体的な視察箇所・時間帯は現場作業の進捗状況により、後日決定となりますので、あらかじめご連絡をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	水産林務部 林務局 林業木材課 北の森づくり専門学院準備室 (担当者: 主幹 小笠原 昭二)		
	TEL ダイヤルイン 011-206-6579 内線 28-556		

フィンランドの林業教育プログラムの導入に向けた検討について

北海道水産林務部林務局林業木材課
北の森づくり専門学院準備室

1 目的

北の森づくり専門学院における高性能林業機械操縦技術に関する教育プログラムを構築するため、シミュレータを活用した体系的な教育が行われているフィンランド・リベリア林業専門学校の教員を招聘し、オペレーターの指導方法等について意見交換を行う。

2 内容

(1) 内容

道内の現状を踏まえたハーベストオペレーター養成プログラムの検討

- ・道内の伐採現場の見学及び意見交換
- ・道内の現状を踏まえた教育プログラムの検討

(2) アドバイザー

リベリア 林業教育部長 ミッコ・サーリマー

(随行：リベリア 国際職業教育・トレーニング長 カトヤ・ベリュネン)

3 内容

日程	場所	内容
8/5(月)	AM 中富良野町 民有林伐採現場	伐採作業現場視察 ・高性能林業機械を活用した森林施業に係る技術指導を受け、フィンランドにおけるオペレーター養成プログラムの北海道への適用に向けた意見交換を実施。
	PM 富良野市 東大演習林	東大演習林視察 ・演習林の森林施業について（資料館、天然林施業の視察）
8/6(火)	AM 帯広市 製材工場	製材工場視察（株）サトウ ・木材集荷、流通等意見交換
	PM 大樹町 道有林伐採現場	伐採作業現場視察 道有林十勝管理区 ・高性能林業機械を活用した森林施業に係る技術指導を受け、フィンランドにおけるオペレーター養成プログラムの北海道への適用に向けた意見交換を実施。
8/7(水)	AM 厚岸町 国有林伐採現場	伐採作業現場視察 パイロットフォレスト ・高性能林業機械を活用した森林施業に係る技術指導を受け、フィンランドにおけるオペレーター養成プログラムの北海道への適用に向けた検討を実施。
	PM 標茶町	室内意見交換
8/8(木)	AM 釧路市 (一社)前田一步園 財団所有山林	人工林・天然林施業視察 ・針広混交林を主とした原生的な森に育て上げている天然林施業現場を中心とした視察を実施。
8/9(金)	札幌市 北海道庁会議室	全体総括・北海道における高性能林業機械オペレーター養成プログラムの検討

*日時、内容は変更する場合があります。

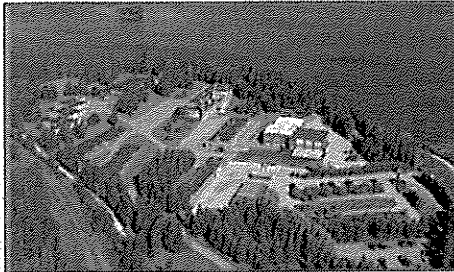
リベリア林業専門学校 **RIVERIA**

○リベリア林業専門学校 (ヴァルティモ 林業機械トレーニングセンター)

リベリア林業専門学校
(ヴァルティモ)



フィンランド



対応：ミッコ サーリマー
林業教育部長

- ・職業教育のための教育機関、国内に同様の学校が9校ある
- ・市町村連合が運営費を拠出、政府補助を含め予算は5.6億円/年
- ・学生は**230人**（高卒・転職など色々）、**教員・スタッフは40人**
- ・林業機械は、**ハーベスタ14台、フォワーダ17台**所有
(機械は全て購入/最新である必要はない/20年更新)
シミュレータを24台所有
- ・**ハーベスタオペレーター、チェーンソー林業労働者、
運送トラック運転手などのコース**
- ・学生教育の他、トレーニング方法の開発、機械の開発などに力を入れている
- ・ロシアの林業学校支援・トレーナー育成、ブラジルの林業学校支援の実績

○教育の体系

- ・基本的な教育体系は、3年間のうち
2年生までに基礎技術を身につけ、
3年目は企業でのOJT
- ・林業機械の運転、チェーンソーの操作など
個別の資格取得はなく、**学校卒業が資格代わり**
- ・**卒業時点で、現場で働けるレベルに**
- ・卒業後、起業で3-10年経験を積んだ人向けの
プロフェッショナル育成コース、
機械のメンテナンスコースも
- ・実習重視 実習は近くの国有林で
学校所有の機械で実施



<主な科目>

科目	単位
森林施業入門	20 (11週)
フォワーダ操作入門	20 (11週)
メンテナンス入門	20
コミュニケーション、数学、語学	35
専門分野(フォワーダ、ハーベスタ、エクスカベータ、 運材トラックドライバー、機械工、伐木技術)	65
選択	
エクスカベータ操作(盛土)	10
大型トラック資格(運搬機械)	10

・概論・入門～コミュニケーションで
1年～1年半

・2年進級時にコース分け

・ハーベスタが人気、チェーンソーは5-6%